

浜松経済同友会 創立50周年記念
第32回 同友会経済サミット「政策提言」
人口減少社会に立ち向かう！
シン・伸びゆくハママツ

1. 現状と課題
2. 提言の具現化・検証
3. 提言「シン・伸びゆくハママツ計画」

浜松経済同友会
政策委員会 委員長
松坂 直和

人口減少社会に立ち向かう！
シン・伸びゆくハママツ

目次

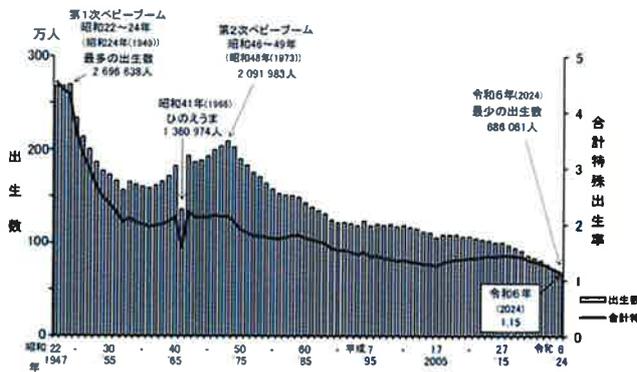
1. 現状と課題
 - 1-1 出生数と人口推移
 - 1-2 都道府県別転入超過数
 - 1-3 現状と課題
 2. 昨年度 提言の具現化・検証
 - 2-1 浜松市民憲章の改訂案
 - 2-2 はままつ子ども未来サポーター認定制度の設立
 - 2-3 はままつ子ども未来サミットの開催
 3. 提言「シン・伸びゆくハママツ計画」
 - 3-1 現状と課題
 - 3-2 デジタル広報の強化 魅力を届ける
 - 3-3 ものづくりのまちロボティクス特区構想
-

1. 現状と課題

1-1 出生数と人口推移

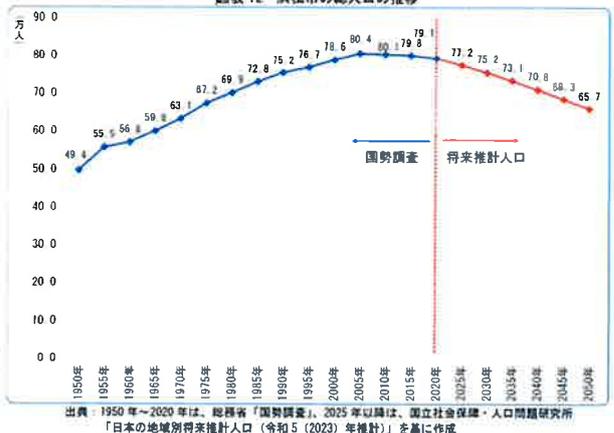
- 厚生労働省が発表した「令和6年(2024)人口動態統計月報年計(概数)の概況」によると、2024年における日本人の出生数は68万6061人で前年比4万1227人減、合計特殊出生率は1.15で前年比0.05減。いずれも過去最低となった。

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移



出生数・合計特殊出生率の状況 (出典 厚生労働省 2024年人口動態統計2 250604)

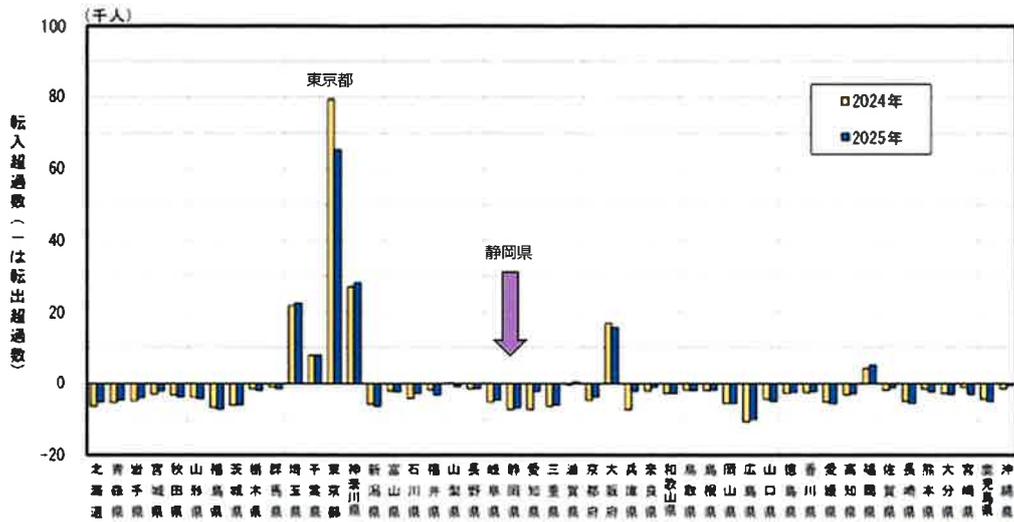
図表12 浜松市の総人口の推移



出典：1950年～2020年は、総務省「国勢調査」、2025年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」を基に作成

1-2 都道府県別転入超過数

図6 都道府県別転入超過数（2024年、2025年）



2

1-3 現状と課題

2026年2月3日総務省統計局が発表した「住民基本台帳人口移動報告2025年結果」
転入超過数を都道府県別にみると、東京都が6万5219人と最も多く、
次いで神奈川県（2万8052人）埼玉県（2万2427人）大阪府（1万5667人）

- 転出超過数をみると、広島県が9921人と最も多く、次いで福島県（7197人）
静岡県（6711人） 新潟県（6379人）など40道府県で転出超過
- 日本人だけのデータをみると
静岡県（7919人）2年連続全国ワースト1位
- さらに・・・女性転出超過数をみると
静岡県（4357人）とこれまた全国ワースト1位

女性転出4357人の内訳をみてみます・・・
15歳～29歳までのいわゆる若い世代の女性転出が4069人
これは女性転出全体の93%を超える！！

この社会減の部分をごくにかしていかなければ・・・

3

2014年の自治体バイブル「地方消滅」

(ご著者) **増田寛也様**

オフィシャルサイトより



2024年12月11日、首相官邸にて

5年半勤めた日本郵政社長を6月25日に退任し、野村総研究所に顧問として戻りました。現在の日本は、急速に進む人口減少、東京一極集中と地方の衰退など困難な問題に直面しています。今後は、こうした諸問題の解決に少しでも貢献したいと考え、提言や地域での活動を行ってまいります。これからどうぞよろしくお願いたします。

「地方消滅」東京一極集中が招く人口減少・「地方消滅」創生戦略編



地方消滅 【東京一極集中が招く人口急減】

著者： 増田寛也

定価：920円（税別） 発売日：2014年8月 出版社：中央公論新社

このままでは896の自治体が消滅しかねない――。減少を続ける若年女性人口の予測から導き出された衝撃のデータである。若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果、日本は人口減少社会に突入した。多くの地方では、すでに高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増してゆく。豊富なデータをもとに日本の未来図を描き出し、地方に人々がとどまり、希望と誇りに子どもを育てる社会へ委

わるための戦略を考える。

4

2. 昨年度提言の具現化・検証

昨年度 同友会経済サミット「政策提言」具現化・検証

1. 浜松市民憲章 の改訂

市民憲章に「人口減少抑制への未来戦略(規範)」を定め
官民一体となって取り組む共通の想いを整える

2. はままつ子ども未来サポーター認定制度 の創設

社員が抱く「子どもを産み、育てたいという『願い』」
を応援するサポーター企業を、浜松市が認定・優遇する制度をつくる

3. はままつ子ども未来サミット の開催

浜松の子どもの今を学び、課題を共有し、
市民全体で未来に向かう年1回の機会をつくる
(優良サポーター企業の表彰も組み込む)

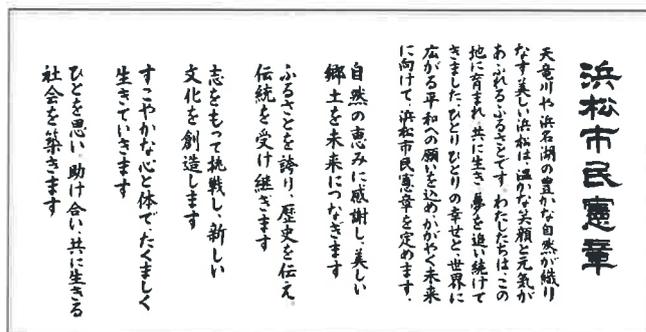


5

2-1 浜松市民憲章の改訂

1. 浜松市民憲章 の改訂

市民憲章に「人口減少抑制への未来戦略(規範)」を定め
官民一体となって取り組む共通の想いを整える



現市民憲章においても「人口減少抑制への共通の想い」
は十分に包含されております。

6

2-2 はままつ子ども未来サポーター認定制度の創設

2. はままつ子ども未来サポーター認定制度 の創設

社員が抱く「子どもを産み、育てたいという『願い』」を応援するサポーター企業を、浜松市が認定・優遇する制度をつくる

子育て世代従業員応援企業支援事業



認定制度に対するヒヤリング
意見交換を経て・・・

浜松市子育て世代従業員応援事業所の認定
浜松市子育て応援宣言事業所を募集



浜松市子育て応援宣言事業所を認定



7

2-2 はままつ子ども未来サポーター認定制度の創設

浜松市子育て応援宣言事業所

ローランドディー・ジー、ソフトプラン工業、須山建設等々
浜松の多くの企業が認定されました。

また認定されました企業を対象とし
『はままつ子育て世代活躍企業コンテスト』を開催！応募一次審査を
通過した下記9社の中から大賞を懸けて一般投票が行われました。

鈴木晒整理株式会社
三栄ハイテックス株式会社
共和レザー株式会社
浜松倉庫株式会社
浜名梱包輸送株式会社

株式会社アリー
ティージーオプシード株式会社
株式会社林工組
浜松ホトニクス株式会社

8

2-2 はままつ子ども未来サポータ認定制度の創設



企業と地域で支える
子育て世代応援フォーラム
においてコンテストの表彰また各企業の取
組みについての事例紹介が行われました。

浜松の多くの企業が
子育て応援宣言事業所として認定を受け
また優れた取り組みを行っている企業の
事例を学ぶことにより、より一層この浜松が
働きやすく子育てしやすい環境に向けて
積極的であることを大勢の人達にご理解い
ただける機会になりました。



9

2-3 はままつ子ども未来サミットの開催

3. はままつ子ども未来サミット の開催

浜松の子どもの今を学び、課題を共有し、
市民全体で未来に向かう年1回の機会をつくる
(優良サポーター企業の表彰も組み込む)



(浜松市オフィシャルサイトより)



10

3. 提言「シン・伸びゆくハママツ計画」

第32回 同友会経済サミット『政策提言』

シン・伸びゆくハママツ計画

逃げちゃダメだ
逃げちゃダメだ
逃げちゃダメだ

人口減少に適応しながら豊かに暮らせる地域
ハママツ 生き方 暮らし方 働き方

第32回 同友会経済サミット『政策提言』

ここで生み育てたい！ ここで働き暮らしたい！！

人口減少社会！各都市間でパイの奪い合いでは
根本的な解決には至らない…とは言え

社会減にあらがう選ばれる浜松へ

浜松市は まち・ひと・しごとの創生に向けて
様々な取り組みを行い発信しています・・・

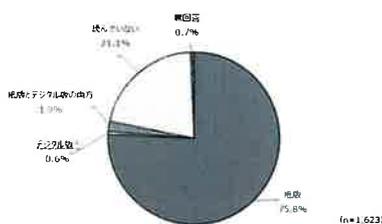
はたして多くの人々にそれは

届いているのだろうか？！

12

3-1 現状と課題

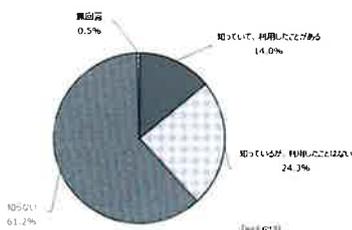
広報はままつを『読んでいる』人は78.3%で、『読取』が75.8%



広報はままつ読んでいる人78.3%
70代89.8% 60代87.9%
29歳以下37.5%学生33.3%

各世帯配布の紙媒体影響力は大きい
高齢者の方はほぼ9割読んでいるが
デジタルネイティブな若者には・・・

「浜松市子育て情報サイトびっぴ」を『知っている』人は38.3%



浜松市子育て情報サイト

知っている人は 38.3%
30代知っている人 65.8%

浜松の子育て情報といえばびっぴ！
情報を必要とする世代にぴったりマッチ！
内容も充実！認知度も高い

昨年実施された浜松市第52回市民アンケート調査報告より

13

3-1 現状と課題

浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」

LINE公式アカウント しゃんべえ情報局

浜松市公式SNSの中でも
利用度が高いLINE



3-1 現状と課題

■問11 市政情報を入手したことがある浜松市公式SNS (n=201 複数回答)



- 市政情報を入手したことがある浜松市公式SNSについては、「SNSから市政情報を入手したことがない」が約7割と最も多い回答となっていますが、情報を入手したことがあるSNSでは「LINE」が約2割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「SNSから市政情報を入手したことがない」が最も多い回答となっていますが、情報を入手したことがあるSNSでは「LINE」が最も多い回答となっています。

令和6年浜松市広聴モニターアンケート 浜松市の広報についてより

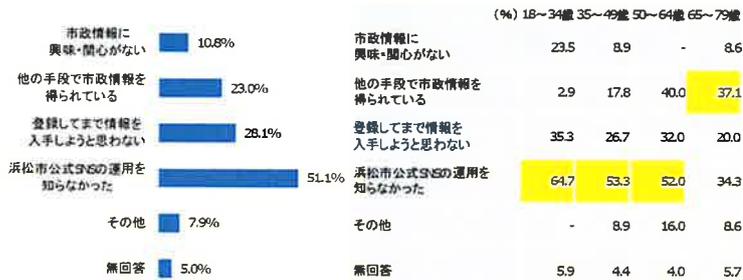
令和6年に行った浜松市
広聴モニターアンケート
浜松市の広報について

市政情報を入手したことが
ある浜松市公式SNS

SNSから市政情報を
入手したことがないが
約7割！と最多

3-1 現状と課題

■問13 浜松市公式SNSを利用しない理由 (n=139 複数回答)
(問11で「5 SNSから市政情報を入手したことがない」と回答した方)



- 浜松市公式SNSを利用しない理由については、「浜松市公式SNSの運用を知らなかった」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別みると、18~34歳・35~49歳・50~64歳では「浜松市公式SNSの運用を知らなかった」が、65~79歳では「他の手段で市政情報を得られている」が最も多い回答となっています。

令和6年浜松市広聴モニターアンケート 浜松市の広報についてより

浜松市公式SNSの運用を知らない
が最も多い次いで登録してまで
入手しようと思わない。

SNSの運用を一番よくご存じなのは
最高齢者ゾーンの方！
紙媒体広報はまます！！

若者世代にSNSの存在と自分にとって
有益な情報が流れていることを周知
させなければ・・・

第32回 同友会経済サミット『政策提言』

ここで生み育てたい！ ここで働き暮らしたい！！

そのためには更なる情報発信力強化！

浜松の特性を活かし豊かに暮らす新たな計画！

シン・伸びゆくハママツ計画

政策提言『シン・伸びゆくハママツ計画』

1. デジタル広報の強化 魅力を届ける

浜松市広報誌やHP・SNSは整っているが、
若者世代等に必要な情報をより効果的に届ける！
情報により不安感を和らげ安心して暮らせる街に
SNS戦略 (Instagram TikTok YouTube X LINE)
学生・若者・子育て世代が自分事として受け取るように

2. ものづくりのまちロボティクス特区構想

ものづくりのまちハママツ
だからできる生活サポート
人口減少社会に適応し豊かに暮らせる街に

18

3-2 デジタル広報の強化 魅力を届ける

- ・若者世代をターゲット！ 知ってもらい使ってもらおう
社会減の中心にある若者世代 浜松市の若者世代向け情報発信
学生参加企画やタレントやインフルエンサーを起用したショート動画等
動画配信などにも力を注ぎ、魅力的なコンテンツも増えてきている。

SNSその鍵は入口！まずは知る！そして登録へ！！

そこで浜松市が誇る大人気コンテンツ市内中学校全48校で開催する

『社長の特別授業』

浜松市内企業の魅力とともに浜松市の魅力もお伝えする授業です。
浜松市の魅力満載の情報が流れる浜松市公式SNSの紹介と登録を！

19

3-2 デジタル広報の強化 魅力を届ける

- ・若者世代をターゲット！ 知ってもらい使ってもらおう
- そして高校生にはこの機会

静岡県西部高校生のための職場体験
ジョブキャンプ2025

主催：浜松市・浜松商工会議所
問合せ：浜松商工会議所 人材

進学等により地元浜松を離れる前に！

20

3-2 デジタル広報の強化 魅力を届ける

ここで生み育てたい！ ここで働き暮らしたい！！

- ・浜松市地方創生総合戦略（2025～2029）
人口減少問題、少子化対策については出会いから結婚、
出産、子育て、教育そして働き方までライフステージに
合わせた切れ目のない支援をとうたわれております！

進学等で都会に出て行っても

いずれ浜松に戻りたいと思えるよう

浜松の魅力を発信・届け続ける！！

また世代や暮らしに合わせた最適な情報により
人生における不安が和らぎ安心して暮らせるハママツに



(生成AIで作成したイラスト)



21

3-2 デジタル広報の強化 魅力を届ける

ここで生み育てたい！ ここで働き暮らしたい！！
はたらく魅力 企業は今年度創設された

「浜松市子育て応援宣言事業所」

への認定に向けて取組みを強化推進！

「社会貢献活動に取り組む事業者ロゴマーク」のように
「浜松市子育て応援宣言事業所」

ロゴマークがあるとさらに推進力が高まる

多くの企業が認定されると
子育てがしやすく働きやすいハママツに



22

3-3 ものづくりのまちロボティクス特区構想

- ・生活サポート 人口減少社会に適応し豊かに暮らす
様々な情報が届くことにより不安感が和らぎ
安心して暮らせるハママツに！
しかしながら人口減少の波は確実に襲ってくる
産業の生産力はもちろん暮らしにおいても
人の手が足りなくなる

豊かな暮らしのため浜松の特性、強みをしっかり活かして！
ものづくりのまちが目指す生活サポートロボティクス！！

実現に向けては官民一体となった取組みが不可欠となる
ロボットに関する特区先行事例といえは・・・

23

3-3 ものづくりのまちロボティクス特区構想

神奈川県12市町が2013年に国から地域活性化総合特区として指定を受けた【さがみロボット産業特区】



ETEZUKA PRODUCTIONS

(神奈川県オフィシャルサイトより)

人口減少や超高齢化社会に直面する様々な課題に対応するため生活支援ロボットの実用化と普及に向けて2023年より第3期計画に取り組まれております。

24

3-3 ものづくりのまちロボティクス特区構想

・生活サポート ロボティクス特区構想

この先進知見を存分に活用しながら、ものづくりのまち浜松の強みをフルに発揮！お掃除や介護サポートロボの事業化！量産化また輸送用機器メーカーが本拠を置くモビリティ産業集積地として

ロボット×モビリティ

による新たな生活支援や産業支援も推進



研究の街にとどまらず事業化・量産化を進め産業と社会に実装する。

人口減少社会に適應するこの事業は産業の新たな柱に！新しい豊かな暮らし方、働き方を実践する

25

政策提言『シン・伸びゆくハママツ計画』

1. デジタル広報の強化 魅力を届ける

情報は不安感を和らげ安心して暮らせる街に

2. ものづくりのまちロボティクス特区構想

人口減少社会に適応しながら豊かに暮らせる街に

シン・伸びゆくハママツ計画

ここで生み育てたい！ ここで働き暮らしたい！！

選ばれる街ハママツへ

26

浜松経済同友会 創立50周年記念

第32回 同友会経済サミット「政策提言」

人口減少社会に立ち向かう！

シン・伸びゆくハママツ

ご清聴ありがとうございました



(浜松市オフィシャルサイトより)

浜松経済同友会
政策委員会 委員長
松坂 直和